

全労済協会シンポジウム 「これからの働き方研究会」成果報告会 『これからの働く地図 ～仕事と職場と私の未来～』開催報告

2018年10月24日（水）13時30分より17時まで、東京都渋谷区の「全労済ホール/スペース・ゼロ」にて、当協会シンポジウムを開催しました。

働くことへの環境や意識が変化するなか、当協会では、2017年6月から1年間、東京大学社会科学研究所教授の玄田有史氏を主査とする「これからの働き方研究会」を設置し、『働く』を見つめ直す：雇用者の視線から」をテーマに議論を重ねてきました。



《当日の会場風景》

第1部では、玄田有史氏とキャスターの国谷裕子氏が基調対談を行い、玄田氏の提唱する30代の限界戦略について、国谷氏から質問が投げかけられるなど、活発な意見交換がなされました。

また、第2部では、研究会メンバーの中から、中央大学大学院戦略経営研究科教授の佐藤博樹氏、リクルートワークス研究所主任研究員の中村天江氏、連合総合労働局長の村上陽子氏、コーディネーターとして玄田有史氏の4名が登壇して、パネルディスカッションを行い、『30代の働く地図』に込めたメッセージなどを話し合いました。



《第1部 基調対談での玄田氏（右）と国谷氏（左）》

当日の会場には、働く若い方々はもちろん、学生や企業の人事部門の担当者など、337名が来場し、メモを取るなどしながら、熱心に聞き入る様子が見られました。



《第2部 意見を交わす左より玄田氏、村上氏、中村氏、佐藤氏》

※ 当シンポジウムの詳細は、後日、全労済協会のホームページにてご報告いたします。